

学校だより

にしづえ

甲斐市立双葉東小学校

平成21年9月29日号

“天地人”の運動会

運動会が終わった翌日、その日必要な礼服が学校においてあったので着替えに学校に立ち寄った。校長室の鍵を開け中に入ると、校庭から子どもの声が聞こえてきた。時間がなかったので、ブラインドを開け着替えながら外を眺めてみると、低学年らしき二人の子どもが運動会でいった二人一組の組み立て体操を芝生の中で行っていた。ちょっとハラハラしていたが声をかけずに見守ることにした。何か二人でかけ声をかけながら倒立やサボテン・肩車等を失敗しながらも何度でも行っていた。2000人を超える観客から大きな拍手をもらっている、5・6年生のお兄さんやお姉さんの勇姿を想像しながらやっていたことは間違いない。その証拠に、演技の最後のビシッと決めるところ



開会式での全校児童



忍者になりきった1年生

を強調している様子がうかがえた。二人には観客の大きな拍手が聞こえていたに違いない。私は外に飛び出したい気持ちを抑え、ブラインドを下げ校長室を後にした。本校の秋季大運動会が9月19日（土）に行われた。長期予報や週予報あるいは前日予報から、天気に関しては全く気にすることはなかった。台風13号の影響で延期した昨年とは大違いであった。早朝は雲に覆

われていた空も、開会式頃には、さわやかな青空が広がった。心配の種は新型インフルエンザの蔓延であった。双葉中で7日から11日まで学校閉鎖措置が執られ、学園祭も延期してただけに覚悟はしていた。堀之内養護教諭から毎日毎日新型インフルエンザの状況報告とその取り組みが強調された。一つのクラスで学級閉鎖措置が執られると、運動会の延期

にならざるを得ない状況なので、各担任も子ども達も必死だったに違いない。9月19日を目標に、夏休み明けから6年生を中心としてみんなで力を合わせ、互いに競い合い、励まし合って、一生懸命練習してきたからだ。その成果からか、前日の欠席児童7名。新型インフルエンザによる欠席者は3名ということで、運動会が予定通り実施できた。各家庭の、学校と一体となった取り組みがなければ



金メダルまちがいなしの2年集団フープ



大漁の喜びにあふれる3年ソーラン節

にならざるを得ない状況なので、各担任も子ども達も必死だったに違いない。9月19日を目標に、夏休み明けから6年生を中心としてみんなで力を合わせ、互いに競い合い、励まし合って、一生懸命練習してきたからだ。その成果からか、前日の欠席児童7名。新型インフルエンザによる欠席者は3名ということで、運動会が予定通り実施できた。各家庭の、学校と一体となった取り組みがなければ

実施も危ぶまれた。何よりもありがたいことである。

今年の運動会のもう一つの特筆すべき事柄は、校庭拡張芝生化工事が完成した最初の年の運動会である。竜地の溜め池の4分の1ぐらいを校庭に提供していただき、拡張した上にさらに芝生化にいただいた。溜め池の壁のために校庭からは見ることの出来なかった富士山も、御坂山系上に見ることが出来るようになった。まさに双葉東小学校にとっての歴史的な運動会になった。また、例年になく、練習中も本番も怪我の少なかったことが特徴である。この工事のためにご尽力いただいた各位に感謝するばかりである。

前日の場所取りから始まって、当日、校庭は人盛りであった。子ども達も会場の熱気に応えないはずはない。1年生は初めての運動会でとても張り切っている様子がうかがえた。「ザ・ニンジャ! SA・SU・KE」では、赤と黒をベースの衣装で4種類のネッカチーフのグループに分かれ演技した。全員忍者になりきり、ポーズも見事に決まり元気いっぱい踊っていた。2年生の「オンリーワン103の花」では、フープを使って、手、足、



会場に花を咲かせた4年花笠音頭



どンドン渡れ! 5年競争競技

胴を使って、または首まで使って一生懸命演技していた。学年の練習時間ばかりでなく、休み時間も使って練習していた成果が出ていた。3年生は「ヤーレン・ソーラン」を韮崎市にお住まいの舞踊家元石川先生から指導を受けた成果を示し、日本手ぬぐい1本で漁をする勇ましい姿を一糸乱れず力強く踊っていた。4年生は「開け!!花笠」=花笠音頭を赤い花と鈴をつけた笠を持ち、あかねだすきをキリッと締めてきびきびと踊っていた。放送トラブルがあったものの、見事迫力ある花笠音頭を踊りきった。5・6年生の「ゴー! 東小ゴー!」=組み立て体操。これはもう見事というほかはない。一人・二人・三人・・・ブリッジ、バランス、倒立・・・そして圧巻は5段タワーと、各種目をドラマ風に仕立てた構成で次々と成功させていった。そこにはリズム・統制・均斉・緊迫の美があった。会場が感動に包まれた。終了後本部前で5・6年の先生が目には涙を浮かべながら、がっちり握

手する姿を私は見逃さなかった。



戦国時代並みの6年騎馬戦



5段タワーを完成させた5・6年の組み体操

手する姿を私は見逃さなかった。

学年ごとのリレー・綱引きをはじめとする競技も、白熱した戦いが展開された。今年は6年生が2クラス構成ということで、全校を赤白の縦割り編成とした。そのため競技している子ども達ばかりでなく、応援する子ども達も学年の枠を超え、競技していく子ども達以上に熱が入り、声をからさんばかりに応援していた。赤組、白組とも応援団長を中心に工夫を凝らした創造的な応援をしていた。

全身全霊で当日までの指導に当たった先生方一人ひとり。その様子を協力的に温かく見守っていただいた保護者の皆様。駐車場の整理や案内、そして片付けを最後の最後までしていただいたPTA役員の皆様方。いつも双葉東小学校を支援していただいている地域の方々や来賓の方々。今年も双葉東小学校に関わる全ての人々が運動会を盛り上げてくれた。

まさしく21年度双葉東小学校の秋季大運動会は、『天の利・地の利・人の利』を得た運動会であった。